

生命科学院ソフトマター専攻設置について

平成 30(2018)年 4 月、北海道大学は大学院生命科学院にソフトマター専攻を設置しました。2016 年に先行設置された国際連携研究教育局 (GI-CoRE)「ソフトマターグローバルステーション (GSS)」の研究拠点 (教員組織) が中核となり、広範な物質生命科学を包括的に課題解決できる人材の育成を目指した新たなソフトマター専攻を生命科学院に設置しました。同時に、物質・材料研究機構の連携分野 (ソフトマター機能学) も同専攻に開設しました。学生募集人員は、修士課程 16 名、博士後期課程 6 名です。専攻の概要や入試説明会案内等は、下記ホームページをご覧ください。平成 30(2018)年 8 月実施の選抜試験の詳細については、6 月上旬に公表予定の学生募集要項をご覧ください。

ソフトマター専攻ホームページ (<https://life.sci.hokudai.ac.jp/sm>)
生命科学院入試情報 (<http://www.lfsci.hokudai.ac.jp>)

平成 30(2018)年 4 月
大学院生命科学院

生命科学院ソフトマター専攻設置関連の記事

北海道大学メールマガジン「Hokkaido University Times」5号(2018年3月)

https://www.global.hokudai.ac.jp/wp-content/uploads/2018/03/HUTimes_Issue5.pdf

HU Research Magazine “Soft Matter: Material of the Future” (2018年3月 創刊号)

創刊号特集 “Soft Matter: Material of the Future”

<https://www.global.hokudai.ac.jp/blog/tackling-global-issues-vol-1-material-of-the-future/>

用語解説

・ソフトマター：

生命科学は今日、物質科学や情報科学の学際領域との融合研究が進展し、次世代型生命科学へのイノベーションがますます期待されています。ソフトマターは生体分子、高分子、ゲルなど柔らかい物質の総称・概念で、これらは代表的な先端基盤材料として、産業界、医療、環境・エネルギー分野など広範な分野から注目されており、社会的にもこれらの研究開発を推進する理工系人材の育成が求められています。

・国際連携研究教育局 (GI-CoRE)：

<https://gi-core.oia.hokudai.ac.jp/main/>

北海道大学の強みや特色を活かした国際連携研究・教育の推進と部局が独自に進める国際連携研究・教育の支援を目的とし、世界トップレベルの教員を国内外及び学内から結集した総長直轄の部局横断教員組織。現在 6 拠点設置されています。

・ソフトマターグローバルステーション (GSS)：

<https://gi-core.oia.hokudai.ac.jp/gss/>

高齢化、環境汚染、資源不足など社会が直面している課題解決に資するソフトマター分野の躍進的発展のため、2016 年 4 月に第 4 の GI-CoRE 拠点として先端生命科学研究院に開設されました。学内

では医学研究院、北海道大学病院、電子科学研究所と連携するとともに、国際的な研究拠点として、パリ市立工業物理化学高等専門大学 (ESPCI)、ノースカロライナ大学などと協働し、世界を先導するソフトマター基礎科学研究、革新的ソフトマテリアル創製および医療応用を展開する研究活動が行われています。ソフトマター専攻設置にはこの GI-CoRE 拠点の教員組織が中核となりました。

・生命科学院：

<http://www.lfsci.hokudai.ac.jp/>

北海道大学・生命科学院は、従来の学部の枠、学問の枠を超えた、最先端の生命科学の教育を目指して 2006 年に設立された大学院教育組織です。教員組織として 4 つの研究院 (理学研究院、薬学研究院、農学研究院、先端生命科学研究院)、4 つの研究所 (電子科学研究所、低温科学研究所、遺伝子病制御研究所、触媒科学研究所)、2 つの連携分野 (産業技術総合研究所、物質・材料研究機構) の研究者が集い、広範な生命現象を包括的に理解できる人材の育成を目指しています。生命科学専攻 (2006 年)、臨床薬学専攻 (2012 年)、そして 2018 年には医学研究院、北海道大学病院、電子科学研究所が参画し、新たにソフトマター専攻が設置されました。